

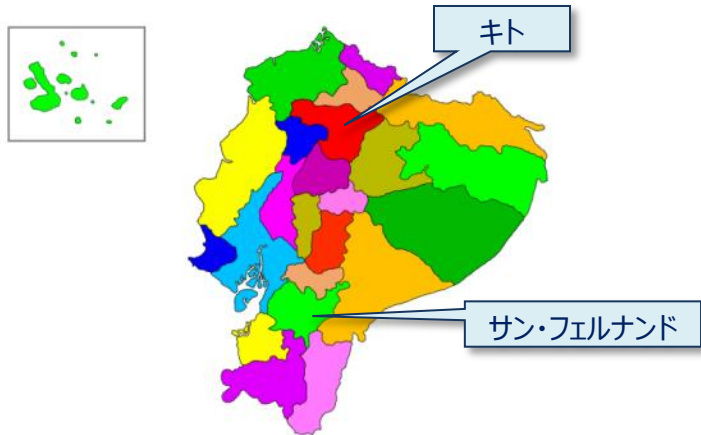
「パカイ地区下水道建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「パカイ地区下水道建設計画」のための、当館とサン・フェルナンド市による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,744,570円
贈与契約締結日： 2016年1月15日

アスアイ県サン・フェルナンド市中心部から南東方約10 kmの距離に位置するパカイ地区には、現在下水道は整備されておらず、民家約41軒がそれぞれの敷地内に家庭用浄化槽（地面に穴を掘り、汚水等を溜め、土壌に水分を浸透させる仕組み）を設置し生活排水の処理を行っています。しかし、家庭用浄化槽の使用限度期間は平均1～2年と短いため、頻繁に新しい浄化槽を設置しなければならず、各家庭が維持管理費を家計から捻出するのは大変難しいのが現状です。かかる状況から、大半の家庭では浄化槽の寿命を少しでも延ばすため、浄化槽にはトイレからの排水のみを接続し、炊事場や洗濯場の排水は民家の軒先や道路脇の溝へ垂れ流しています。このため、住民は慢性的な汚臭に悩まされており、家庭内外において良好な衛生状態を保つことが困難な状況にあります。さらに、道路に流出した汚水は付近の河川に流れ着くため、自然環境への汚染も深刻です。

本計画は、前述の地区において下水処理場を整備することによって、汚臭や用水路の汚水が解消され、用水路の隣接住民及び農家の衛生・生活環境改善に貢献しようとするものです。



計画実施前



署名式

